



【タブレット端末の活用】

G I G Aスクール構想の本格的な実施に伴い、本年度から児童一人に一台のタブレット端末が支給されました。教職員は4月から活用法の研修を重ね、試行錯誤しながら授業の中で効果的に活用できるよう指導してきました。また、新型コロナウイルスの感染拡大により登校できない場合を想定したオンラインのやり取りを試行したり、家庭学習でも端末を活用する課題を出すことを始めたりしています。児童の操作技能はどんどん向上し、様々な学習場面で有効に活用でき始めました。ICT教育の推進により学校現場は急激な変化が起きています。



【6年生のボランティア活動】

6年生の卒業が近付いてきました。この1年間、行事や集会などで活躍してくれましたが、日々の生活でも最高学年としての自覚をもって手本となる立派な行動をしてくれています。その中でも、朝のボランティア活動にはいつも感心させられます。この活動は、6年生が学校をより良くするために各自が考えたことを1学期から実践しているもので、校門での挨拶運動や落ち葉掃き、草取りや溝掃除、運動場の整地などを登校後の貴重な時間に行ってくれています。6年生に感謝するとともに、このすばらしい取組を下学年が受け継いでいってくれることを期待しています。



【心の成長】

保護者アンケートでは、家での靴そろえの評価が低かったのですが、学校では休憩時間直後の靴箱の靴が右の写真のようにきちんとそろっています。また、掃除時間には、担当場所を黙って一生懸命掃除する児童が大変増えました。児童の心の成長を感じ、とてもうれしく思います。家庭教育のお陰でもあります。

